

公益社団法人日本包装技術協会

事業の一覧

事業区分	事業の内容
公益目的事業	<p>＜講座、セミナー、育成事業＞ 包装に関する知識の習得と技術の向上を図ることを目的とする事業 （管理士講座、アカデミー、セミナー、コース、研究会、フォーラム、研究大会、懇話会） ＊支部で行っている事業はすべてここに属し、公1として扱う</p>
	<p>＜体験活動等事業＞ 包装に関する体験活動を通して知識の習得と普及を図ることを目的とする事業 （海外視察団、見学会）</p>
	<p>＜表彰、コンクール事業＞ 包装に関連した技術やデザインの啓発を目的として行われる事業で、入賞作品はすべて展示会において一般公開される （パッケージングコンテスト、木下賞）</p>
	<p>＜展示会、ショー事業＞ 包装の最新情報を内外の関連分野に対して啓発、普及を行うことを目的とする事業 （東京国際包装展、暮らしの包装商品展）</p>
	<p>＜調査、資料収集事業＞ 委託による調査及び資料収集が中心となっており、結果は報告書や規格となつて一般に公表される （ISOに関する活動、JISに関する活動、統計）</p>
収益事業	<p>＜出版事業＞ 毎月刊行されている当会の機関誌の出版に関する事業。雑誌は会員には無料、一般には有料で配布されている。その他、非定期的に包装に関する単行本等を刊行</p>

*その他の催事：新年会 総会

平成29年度事業報告

平成29年4月1日～平成30年3月31日

第1 事業

1. 研修、育成、交流事業、普及啓発（公益目的事業 1）

当会の主要事業の一つである人材育成事業は、本年度もまた当初計画以上の成果を得て開催することができた。第52期の包装管理士講座は、開講から終講までおよそ3ヶ月という長期の講座にもかかわらず、417名の参加者を得て、仙台、東京、名古屋、大阪及び福岡の5会場で本部、支部一体となって開催した。受講生は全員、講義－筆記試験－面接試験という講座の過程を経て、419名（前期からの再受講者19名を含む）が合格し、包装管理士の称号を授与された。また、包装管理士講座の上位部に位置する包装アカデミー講座についても、58名の受講生を得て実施され、全課程を修了した58名全員が新たに包装専士として認定された。ほかに、専門コース、セミナー、シンポジウム、講演会など、教育にかかわる事業は各支部のもとで開催され、概ね盛況裡に開催することができた。

包装の普及啓発を目的として開催しているパッケージングコンテストは、本年度、第39回目の開催となり、過去最高のエントリー数となる425点の応募の中から大賞（ジャパンスター賞）として12点が選ばれた。本コンテストの最大の特徴は、審査員は、全員が経済産業省を始めとする公的組織からの代表や学識経験者によって構成され、企業からの参加はないことである。入賞したパッケージはすべて、10月に東京駅前の「KITTE」にて開催した「暮らしの包装商品展2017」展において一般公開されたほか、和英文併記による写真付き商品説明小冊子を作成し、国内及び各国に広報を行った。

交流事業は、海外事業として5月にドイツで開催された世界最大の国際包装展インターパック2017へ視察団を派遣した。本団には54名が参加し、内、17名はスウェーデンを訪問し、同国大使館の支援を得て、同地の包装産業を視察した他、包装関係者との交流を行った。スウェーデン側からの参加者の多くは、2018年10月に当会が開催する東京パック2018への出品者としてまた来場者として参加したいとの希望が寄せられた。また、ブルネイ・ダルサラーム国の要請により当会研究所職員並びに技術参与の派遣を行った。

協会創立以来一度も欠かすことなく開催している全日本包装技術研究大会は、第55回目の開催となり名古屋で開催した。全国から450名を超える方々が参加し、地方で開催するイベントとしては大盛況であった。

<研修、育成事業>

1) 第52回包装管理士講座	6月7日（水）開講	～	9月8日（金）終講	
受講者417名	合格者419名	（前期からの再受講者19名を含む）		
合格者内訳	東京会場	192名	大阪会場	93名
	名古屋会場	74名	福岡会場	40名
	仙台会場	20名		

以上の結果、52期を通して包装管理士有資格者は、13,492名となった。

2) 包装アカデミー	6月12日(月)開講～3月2日(金)終講			
(1) 第31期輸送包装コース	受講者	6名	合格者	6名
(2) 第32期食品包装コース	同	14名	同	14名
(3) 第31期包装材料コース	同	19名	同	19名
(4) 第30期医薬品包装コース	同	19名	同	19名
	計	58名		58名

今期は58名が合格し、包装専士の称号が与えられた。これで包装専士有資格者は1,296名となった。

3) 第55回全日本包装技術研究大会 名古屋大会

11月16日(木)～17日(金) 2日間 名古屋国際会議場

輸送包装、生活者包装、食品包装、医薬品・医療機器包装、化粧品包装、包装資材、電気機器包装、環境包装、パッケージデザインの9部会に76件の発表を行う。

参加者数 451名

<特別講演>

「宗次流経営哲学～会社は継続して栄えねば意味がない～」

(株)ライトアップ カレーハウス CoCo 壱番屋 創業者 宗次 徳二 氏

4) 研究会、セミナー、シンポジウム等の研修活動

(1) 機能別包装研究会

①包装資材研究会

第217回 6月29日(木) JPI 会議室 参加者 145名
『射出成形金型の基礎～金型の構造と機能および成形品質への留意点～』
伊藤英樹技術士事務所 所長 伊藤 英樹 氏

第218回 9月21日(木) JPI 会議室 参加者 150名
『世界最大の包装関連展示会インターパック 2017 視察報告』
(株)東洋紡パッケージング・プラン・サービス 技術総括部 部長 松田 修成 氏

第219回 12月14日(木) JPI 会議室 参加者 139名
『セルロースナノファイバーの実用化に向けた現状と課題』(仮)
日本製紙(株) CNF 研究所 所長 河崎 雅行 氏

第220回 2月22日(木) JPI 会議室 参加者 77名
『食品金属缶について』
大和製罐(株) 総合研究所 副所長 赤地 利幸 氏

第 221 回 3 月 22 日 (木) JPI 会議室 参加者 113 名
『粘着剤についての解説』
大阪シーリング印刷(株) 営業推進部 主査 北川 尚司 氏

②輸送包装研究会

第 215 回 4 月 20 日 (木) JPI 会議室 参加者 145 名
『段ボール箱の胴膨れと擦れ傷の発生要因と対策』
レンゴー(株) 包装技術部 包装評価センター 部長代理 東山 哲 氏

第 216 回 7 月 20 日 (木) JPI 会議室 参加者 139 名
『輸送振動試験における振動の基本知識と各種の輸送規格 (改正 IS013355 含む) の解説』
エミック(株) 技術顧問 井下 芳雄 氏

第 217 回 7 月 20 日 (木) JPI 会議室 参加者 131 名
『ミャンマー・東西経済回廊 最新物流事情』
全国農業共同組合連合会 生産資材部 包装資材課 課長 鈴木 富隆 氏

第 218 回 11 月 29 日 (水) JPI 会議室 参加者 100 名
『グローバル輸送環境の測定手法と評価基準の構築』
三菱電機(株) 住環境研究開発センター 設計・品質技術開発部
設計技術開発グループ 横山 彰久 氏

第 219 回 1 月 25 日 (木) JPI 会議室 参加者 148 名
『JIS Z 0201 及び JIS Z 0202 改正の解説及び落下試験における加速度計測と応用』
富士ゼロックスアドバンステクノロジー(株)
エキスパート開発統括部 包装設計グループ 小勝 則次 氏

③包装ラインシステム化研究会

第 215 回 5 月 25 日 (木) JPI 会議室 参加者 178 名
『軟包材向けデジタル印刷の活用例と現状報告』
(株)日本 HP デジタルプレス事業本部 テクニカルマネージャ 土田 泰弘 氏
(株)タキガワ・コーポレーション・ジャパン 取締役営業本部長 瀧川 翔 氏

第 216 回 5 月 25 日 (木) JPI 会議室 参加者 87 名
『日立産機システムが考える産業分野の I o T』
(株)日立産機システム 営業統括本部 ソリューション営業統括部
IoT ソリューション営業部 吉崎 昭男 氏

第 217 回 8 月 24 日 (木) JPI 会議室 参加者 119 名

『包装、容器の外観検査について・品質保証に欠かせないパッケージの漏れ検査装置』
㈱エム・アイ・エル 応用開発部 高野 淳吾 氏
高千穂精機㈱ 代表取締役社長 堀田 滋 氏

第 218 回 2 月 22 日 (木) JPI 会議室 参加者 72 名
『ものづくりの進化と安川電機の取組み～包装ラインへの活用事例～』
㈱安川電機 ロボット事業部
一般産業グローバルマーケットマネージャー 真田 孝史 氏

第 219 回 3 月 22 日 (木) JPI 会議室 参加者 130 名
『日本国内の MAP (ガス置換包装) の動向について』
㈱寺岡精工 フードインダストリーシステム事業部 課長 矢野 光隆 氏

④生活者包装研究会

第 217 回 6 月 29 日 (木) JPI 会議室 参加者 129 名
『高機能ジッパーテープを活用した利便性の高い軟包装形態』
出光ユニテック㈱ 商品開発センター 第一開発課・研究主任 戸高 匠 氏

第 218 回 8 月 24 日 (木) JPI 会議室 参加者 150 名
『次世代コンビニの実現に向けたイノベーションの取り組み』
㈱ローソン 執行役員 オープンイノベーションセンター センター長
兼 経営戦略本部 副本部長 白石 拓也 氏

第 219 回 10 月 26 日 (木) JPI 会議室 参加者 142 名
『ASEAN におけるコンビニ中食の実状 2017』
伊藤忠プラスチック㈱ 包材第二本部 営業サポート部長代行 佐藤 久朗 氏

第 220 回 1 月 25 日 (木) JPI 会議室 参加者 133 名
『包装容器における CAE の活用と構造最適化を用いた新しいデザインプロセス』
アルテアエンジニアリング㈱ 技術本部 執行役員 阿部 大生 氏

第 221 回 3 月 22 日 (木) JPI 会議室 参加者 153 名
『いいパッケージデザインとは何か～13 万人パッケージデザイン調査から～』
㈱プラグ 代表取締役社長 小川 亮 氏

⑤包装情報研究会

第 95 回 4 月 20 日 (木) JPI 会議室 参加者 144 名
『行動観察から見る高齢者のユニバーサルデザイン』
(一社) 人間生工学研究センター 事務局長 畠中 順子 氏

第 96 回 9 月 21 日 (木) JPI 会議室 参加者 155 名
『デザインビジネスの時代～デザインとは何か～』
㈱ハルメージ 代表取締役 南雲 治嘉 氏

第 97 回 10 月 26 日 (木) JPI 会議室 参加者 144 名
『2017 年から見た今後の人にやさしいパッケージ』
住本技術士事務所 所長 住本 充弘 氏

第 98 回 11 月 29 日 (水) JPI 会議室 参加者 81 名
『最新通販物流事情を学ぶ～パート社員教育成功事例から委託先選定の注意点など～』
ロジクエスト㈱ 代表取締役 清水 一成 氏

第 99 回 12 月 14 日 (木) JPI 会議室 参加者 167 名
『変貌する米国の小売業とパッケージの対応』
有田技術士事務所 所長 有田 俊雄 氏

(2) 県別包装研究会

①静岡県包装研究会

11 月 2 日 (木) 静岡県男女共同参画センター「あざれあ」第一研修室 参加者 70 名
『セルロースナノファイバーの実用化に向けた現状と課題』
日本製紙㈱ 研究開発本部 CNF 研究所 所長 河崎 雅行 氏
『自動車部品梱包の開発・改善事例の紹介』
マップス㈱ 技術部 主務代理 渋谷 典良 氏

②新潟県包装研究会

3 月 9 日 (金) 朱鷺メッセ 302 会議室 参加者 58 名
『パッケージにおける超高齢化社会対策
ーインクルーシブデザインという取組みの紹介ー』
大日本印刷㈱ 包装事業部 マーケティング企画本部 マーケティング部
ライフマーケティングチーム 舘野 由紀子 氏
『食品包材における賞味期限の延長について』
東洋食品工業短期大学、食品包装コンサルタント 包装食品工学科
テクニカルアドバイザー 田口 善文 氏

(3) 包装懇話会の開催 (主催: J P I 包装技術研究所)

①食品・流通包装懇話会	4 回開催	登録者数	62 名
②医薬品包装懇話会	4 回開催	同	134 名
③パッケージデザイン懇話会	4 回開催	同	38 名

④輸送包装懇話会 4回開催 同 49名

(4) セミナー・シンポジウム

①第23回化粧品包装セミナー

- 7月21日(金) TKP ガーデンシティ PREMIUM 秋葉原 ホール2B 参加者62名
「化粧品パッケージに求められるデザイン・設計」
- ・『化粧品における加飾用エフェクト顔料について』
メルクパフォーマンスマテリアルズ(株) PM 顔料・機能性材料事業本部
技術サービスグループ 東 和久 氏
 - ・『20～30代女性の消費・美容トレンドについて』
(株)博報堂 買物研究所兼キャリジョ研 主任研究員 松井 博代 氏
 - ・『ブランド価値を創造するポーラのデザイン』
(株)ポーラ デザイン研究室 アートディレクター 鈴木 智晴 氏

②第24回化粧品包装セミナー

- 2月9日(金) JPI 会議室 参加者70名
「化粧品パッケージの開発と加飾技術」
- ・『“使いやすい”を目指したライオンの容器開発』
ライオン(株) 容器・包装技術研究所 高津 衣世 氏
 - ・『化粧品外装容器における転写箔技術』
(株)トービ 営業本部 執行役員 東京支店 支店長 服部 隆彦 氏
生産本部 技術部 次長 生産技術グループリーダー 西堀 雅則 氏
 - ・『3Dプリンターを活用した新たなものづくりと実践事例』
(株)リコー 事業開発本部 AM 事業センター AM マーケティング室
日本マーケティンググループ シニアスペシャリスト 江本 幸司 氏

③第13回包装材料セミナー

- 1月26日(金) ソラシティカンファレンスセンターRoomC 参加者73名
「包装の接着技術について」
- ・『ラミネート用ポリウレタン接着剤』
三井化学(株) 研究開発本部 合成化学品研究所 ウレタン材料設計グループ
主任研究 安藤 一博 氏
 - ・『CO₂発生量削減包材の開発』
味の素(株) 食品事業本部 食品研究所 商品開発センター 包装設計グループ
谷阪 理子 氏
サトーグリーンエンジニアリング(株) 担当部長 山室 博巳 氏
 - ・『デュポンのMylar®イージーピールフィルムについて』
デュポン(株) フィルム事業部 部長 半田 昌史 氏
 - ・『接着技術と包装機械』

大森機械工業(株) 執行役員

一岡 幹朗 氏

④第8回パッケージイノベーションセミナー

3月2日(金) アイビーホール青学会館 サフランの間 参加者 98名
「消費者を考慮したパッケージの役割と価値」

- ・『パッケージに対する生活者の「不満」と「期待」
～「不満買取センター」に集まる包装への不満からみて～』
(株)Insight Tech 代表取締役社長 伊藤 友博 氏
- ・『青果物流通における包装への要望』
オイシックスドット大地(株) 商品ディビジョン 執行役員 力丸 進吾 氏
- ・『消費者の視点に立った容器包装開発』
ハウス食品グループ本社(株) 研究開発本部 容器包装開発部 グループ長
小野 公裕 氏
- ・『UXデザインのパッケージへの応用』
千葉工業大学 先進工学部 知能メディア工学科 教授 安藤 昌也 氏

⑤第5回包装近未来シンポジウム

3月8日(木) JPI 会議室 参加者 82名
「包装の脱ガラパゴス化および Packaging4.0 イノベーションを探る」

- ・『包装技術の脱ガラパゴス化への挑戦』
一般社団法人 日本食品包装協会 理事長 石谷 孝佑 氏
- ・『海外の視点でデジタル時代の新しいパッケージの役割』
(株)パッケージング・ストラテジー・ジャパン 代表取締役社長 森 泰正 氏
- ・『“紙でできることは紙で”
～ 社会課題解決に向けた日本製紙のパッケージ開発について ～』
日本製紙(株) 企画本部 パッケージング・コミュニケーションセンター
技術調査役 内村 元一 氏
- ・『デジタル技術のパッケージへの活用』
凸版印刷(株) パッケージングソリューション事業部 販促本部
紙器販促部長 松本 博 氏
- ・『物流省力化を目指す食品卸』
三菱食品(株) ロジスティクス本部長 千田 建 氏

⑥平成29年度医薬品包装セミナー

3月23日(金) 長井記念ホール 参加者 90名
「これからの医薬品包装が目指す安全・安心・使いやすさ」

- ・『「開封強度」によるCR包装容器の考え方』
産業技術総合研究所 人間情報研究部門 デジタルヒューマン研究グループ
研究グループ長 多田 充徳 氏

- ・『医薬品の包装・ボトルに薬局が感じる表示改善』
 (株)パスカルシステム 代表取締役 横井 正之 氏
- ・『偽造医薬品の実態と対策について』
 金沢大学 医薬保健研究域 薬学系 助教 吉田 直子 氏
- ・『在宅医療における医薬品の使用実態及び容器／包装に関する問題点と要望』
 メディسنショップ蘇我薬局 管理薬剤師 雑賀 匡史 氏

(5) 包装情報ステーション

- ①第 60 回 7 月 20 日 (木) JPI 会議室 参加者 130 名
 『食品ロスの削減と容器包装の高機能化』
 農林水産省 食料産業局 バイオマス循環資源課 食品産業環境対策室長
 河合 亮子 氏
- ②第 61 回 12 月 14 日 (木) JPI 会議室 参加者 155 名
 『食品用器具容器包装のポジティブリスト制度の導入に向けて』
 厚生労働省 医薬・生活衛生局食品基準審査課 課長補佐 近藤 卓也 氏

(6) コース

- ①第 23 回包装新人研修コース
 4 月 13 日(木)・14 日(金) セミナーハウス『クロスウェーブ』 参加者 34 名
- ②第 50 回包装基礎コース
 5 月 10 日 (水) ～12 日 (金)・18 日 (木) ～19 日 (金) JPI 会議室 参加者 73 名
- ③第 34 回フレキシブルパッケージコース
 11 月 10 日 (金) JPI 会議室 参加者 71 名
 下山田包装技術事務所 所長 下山田 正博 氏
- ④第 8 回食品包装コース
 11 月 14 日(火)・12 月 13 日(水)・1 月 16 日(火)・2 月 21 日(水)・3 月 13 日(火)
 JPI 会議室 参加者 27 名
 水口技術士事務所 所長 水口 眞一 氏
- ⑤第 13 回緩衝包装設計コース 参加者 43 名
 1 月 24 日 (水) JPI 会議室
 カネパッケージ(株) パッケージング アドバイザー 高橋 二郎 氏
- ⑥第 43 回段ボール包装設計コース 参加者 41 名
 2 月 15 日 (木) ～16 日 (金) JPI 会議室
 レンゴー(株) 包装技術部 東京包装技術第 1 課 課長 大谷 昌義 氏

(7) 2017 日本パッケージングフォーラム

8月30日(水) 東京ガーデンパレス 平安の間 参加者 152名

- ・「『クリームが付着し難いケーキサイドカバーフィルム』の開発」

東洋アルミニウム(株) 先端技術本部

コアテクノロジーセンター群馬ラボ 課長

西川 浩之 氏

- ・「世界初！植物由来原料 30%使用した国産最軽量キャップ」

サントリーMONOZUKURI エキスパート(株) 包材部

高木 雄一 氏

- ・「エンジン 集合包装仕様改善」

スズキ(株) 生産物流部 物流課

石川 昌平 氏

<交流事業>

1) 国内事業

(1) 月例見学会 (4回開催)

第 295 回	花王コスメプロダクツ小田原	5月23日(火)	参加者 21名
第 296 回	(株)精工 つくば工場	7月19日(水)	参加者 45名
特別見学会	JAXA つくば宇宙センター	9月12日(火)	参加者 152名
第 297 回	国際計測器(株)	11月21日(火)	参加者 28名

2) 海外事業

(1) 欧州包装専門視察団の派遣

- ・Aコース 5月4日(木)～13日(土) 10日間 参加者 17名

ドイツのデュッセルドルフで開催されたインターパック2017展の視察を行った後、スウェーデンを訪問し、現地包装産業の視察、現地包装関係者とのミーティングや交流会等に参加した。

- ・Bコース 5月4日(木)～10日(水) 7日間 参加者 37名

ドイツのデュッセルドルフで開催されたインターパック2017展の視察を行った。

(2) アジア包装連盟 (APF) との連携

12月11日(月)～14日(木) スリランカ・コロンボ

加盟15ヶ国中、9ヶ国の代表が参加し、理事会、総会及びアジアスター2017コンテストが開催された。アジアスターコンテストには、8ヶ国から196点のエントリーがあり、審査の結果、93点(日本の20点を含む)が本年のアジアスター賞を獲得した。

(3) 世界包装機構 (WPO) との連携

11月6日(月)～9日(木) ブラジル・リオデジャネイロ

加盟62ヶ国中、22ヶ国の代表が参加し、理事会、世界包装会議及びワールドスターコ

ンテストが開催された。ワールドスターコンテストには38ヶ国から318点のエントリーがあり、審査の結果、200点（日本の26点を含む）が今年のワールドスター賞を獲得した。また、理事会では、任期満了に伴い会長国が米国からオーストラリアに移ることが承認された。任期は2018年1月から3年間。

(4) 国際包装研究機関連絡会（IAPRI）との連携

第26回IAPRI包装シンポジウム

6月8日(木)～11日(日) スペイン・バレンシア

IAPRI事務局と連携し、発表者及び参加者の募集に対する支援を行なった。

(5) 海外からの包装関係者受入れ

今年度は、中国、台湾、ドイツ、タイ、ブルネイ等からの包装関係者を受入れ、情報交換等を行った。

(6) 海外への包装専門家の派遣

ブルネイ・ダルサラーム国への包装専門家の派遣 1月15日(月)～19日(金)

同国政府の国内産業育成事業の一環として実施され、当会から白倉昌氏（JPI技術参与）と平田JPI包装研究所室長の2名が参加し、現地でセミナーの講師やコンサルタント活動等を行った。

<普及啓発事業> (公益目的事業 1)

1) 第41回木下賞

審査選考 4月24日(月) (審査委員長 小野拓邦氏(東京大学名誉教授))

表彰式 6月9日(金)(総会時)

応募件数 18件 受賞件数 7件

A. 研究開発部門：1件

「CO₂発生量削減包材の開発」 味の素(株)

B. 改善合理化部門：2件

「『ビール類用』軽量缶の開発」 キリン(株)

ユニバーサル製缶(株)

「油分や塩分が多い内容物に使用可能な耐熱性に優れた新電子レンジ対応パウチ」

大日本印刷(株)

ポッカサッポロフード&ビバレッジ(株)

C. 新規創出部門：1件

「内容物にフィットする緩衝機能付き包装箱」 TOTO(株)

包装技術賞：3件

「通信販売向け包装システム（ジェミニ、ジェミニS）の開発」 レンゴー(株)

「吸湿したラップアラウンド段ボール箱の変形防止の研究（CAEの活用）」

ハウス食品グループ本社(株)、レンゴー(株)

「エスビー食品 名匠シリーズQRトランスレーター搭載パッケージ」

エスビー食品(株)、凸版印刷(株)、(株)PIJIN

審査員は9名で、経済産業省をはじめとする公的組織からの代表や学識経験者によって構成され、企業からの参加はない。

2) 2017日本パッケージングコンテスト（第39回）

審査選考6月15日（木）（審査委員長 小野 拓邦(東京大学)）

応募 425点 138点が入賞（内、12点がジャパンスター賞）

経済産業大臣賞「クリームが付着し難いケーキサイドカバーフィルム」東洋アルミニウム(株)

審査委員は17名で経済産業省をはじめとする公的組織からの代表や学識経験者によって構成され、企業からの参加はない。

3) 2017グッドパッケージング展

10月19日（木）・20日（金） KITTE 地下1階パフォーマンスゾーン

上記コンテストにおいて入賞したパッケージ138点（ジャパンスター賞12点、グッドパッケージング賞126点）の展示を「暮らしの包装商品展2017」の会場で行った。また、入賞したパッケージは、すべて作品説明を和英で作成し、雑誌「包装技術」で紹介したほか、小冊子として作成し国内及び全世界に広報を行った。

2. 展示会事業（公益目的事業 2）

今年度は消費者を対象とする包装の普及・啓発イベント「暮らしの包装商品展2017」を10月19日（木）・20日（金）の2日間、東京・丸の内の商業施設「KITTE」にて開催した。今回は、「知ってなっとく！包装容器の新事実！」をテーマに、身近な製品からみる包装の知られざる機能やひみつについて、出展各社による展示やクイズラリーなどを通じ楽しくわかりやすく解説。2日間で計9,500名を超える消費者が来場され、無事盛会のうちに終了した。

今年度は東京パックスの開催準備年であり、5月より実行委員会を編成し国内外への積極的な出展募集活動を実施。また、APF（アジア包装連盟）創立50周年式典並びにアジアスター賞の審査・表彰を東京パックス会期中実施することが決定したことから、各加盟国への来場誘致活動（視察団派遣等）を実施。その他主催者企画・各種セミナーなど併催行事の準備も進めている。

1) 暮らしの包装商品展2017の開催

会期：10月19日（木）・20日（金）2日間

会場：KITTE 1Fアトリウム・地下1階パフォーマンスゾーン

入場：一般公開 入場無料

併催行事：2017グッドパッケージング展、木下賞受賞作品展、クイズラリー

後援：経済産業省

出展者数：10社・団体

景品協賛会社：36社（出展各社・JPI会員より協賛）

来場者数：9,543名

出展各社のブースでは、使いやすさ（ユーザビリティ）や環境配慮、鮮度保持などについて、製品や映像・パネルなどを通じ紹介され、出展各社より出題されたクイズラリーへ参加者のうち先着300名（2日間で600名）に景品を進呈。

2) 国内外包装展への参加

下記展示会にて TOKYO PACK 2018 PRブースを開設した。

国内：第19回自動認識総合展 9月13日（水）～15日（金） 東京ビッグサイト
ジャパンパック2017 10月 3日（火）～ 6日（金） 東京ビッグサイト

海外：台北国際包装工業展（TAIPEI PACK） 6月21日（水）～24日（土） 台北
パック・プリント・インターナショナル 9月20日（水）～23日（土） タイ
PACK EXPO Las Vegas 9月25日（月）～27日（水） ラスベガス
Shanghai World of Packaging 2017 11月 7日（火）～10日（金） 上海

3) TOKYO PACK 2018（2018東京国際包装展）の開催準備

今年度は、実行委員会を設置し、以来4回の会議を開催し、出展社の募集を行った。

3. 調査研究事業（公益目的事業 3）

ISO/TC122(包装)は、平成29年度で1件、現在までに85件の規格を発行しており、Pメンバー30ヶ国、Oメンバー35ヶ国で活動され、日本が議長及び、幹事国として12年間務めている。

本年度は、国際議長に椎名武夫氏（千葉大学大学院教授）が就任され3年目である。前年度からの継続案件を含め、活動中のプロジェクトは、14件である。それぞれの案件につき、幹事国として遅滞のないよう対応を行った。また、国際会議は、計3回実施した。

TC122に関する国内審議では、①包装のアクセシブルデザインの情報と表示（ISO19809）および取扱いと操作（ISO22015）、②包装貨物試験法（ISO4180）、③危険物輸送包装 ISO9000 適用の手引き（ISO16106）、④プラスチックドラム第3部：プラグ/栓閉止システムの改定（ISO20848-3）などが継続事業として実施した。

また、JIS制定・改正に関する調査研究では、①ISO17480（開封性）に伴う制定として、（JISS0021-2）、②ISO780に伴う改定（JISZ0150:2001）、③試験容器の記号表示方法（JISZ0201）の改正、④包装貨物・落下試験（JISZ0202）の改正は、いずれも2017年度に発行した。⑤食品包装用プラスチックフィルム通則は、継続事業として実施した。

1) ISO/TC 122(包装)の国際幹事国(事務局)としての活動

- (1) 前年度からの継続案件の国際規格案、委員会案などに対応を行った。
- (2) 日本提案で取り組んでいるISO 19809「包装のアクセシブルデザイン 情報と表示」は、2017年11月に発行した。
- (3) 日本からの新規提案で取り組むこととなったISO 22015「包装のアクセシブルデザイン 取扱いと操作」は、CD承認まで進捗した。
- (4) 日本提案で取り組んでいるISO 4180は、CD承認まで進捗した。

2) ISO/TC 122 (包装)の国内審議団体としての調査研究及び活動

ISO中央事務局、TC 122、TC 122/SC 3及びSC 4の各国際幹事、各傘下のWG事務局から配信される各種の投票案件及び、会議開催などの案内、要請などに対し、国内対策委員会を編成し、会議、書面審議、海外派遣などにより対応した。主要な案件の概要は以下の通りである。

- (1) 包装とアクセシブルデザイン 情報と表示(ISO 19809)の国際規格を発行
- (2) 包装とアクセシブルデザイン 取扱いと操作(ISO 22015)の国際規格化
- (3) 包装貨物性能評価に関する国際標準 ISO 4180 改正の国際規格化
- (4) 危険物輸送包装 ISO9000 適用の手引きの国際標準 ISO 16106 の国際規格化
- (5) プラスチックドラム第3部:プラグ/栓閉止システムの国際標準 ISO20848-3 の国際規格化 (ドイツ提案)
- (6) 小包輸送のための温度制御された輸送包装 第1部一般要求事項の国際標準 ISO22982-1 及び第2部試験に関する一般要求事項 ISO22983-2 の国際規格化 (韓国提案)

3) JIS 制定・改正に関する調査研究

- (1) アクセシブルデザインー開封性ーに関するJISの制定
本規格は、ISO 17480「開封性」(2015)のJIS化を審議し、2018年2月に発行した。
- (2) 物流包装用荷扱い指示シンボルマークに関するJIS Z 0150の改正は、2018年3月に発行した。
- (3) 試験容器の記号表示方法に関するJIS Z 0201の改正は、2017年9月に発行した。
- (4) 包装貨物・落下試験法に関するJIS Z 0202の改正は、2017年9月に発行した。

上記ISO及びJISの調査研究は政府関連機関からの委託事業である。

4) 平成28年の日本の包装産業出荷統計に関する調査研究

包装・容器出荷金額	5兆6,543億円	(前年 5兆7,814億	・前年比 97.8%)
包装関連機械生産金額	4,535億円	(同 4,613億	・同 98.3%)
合計金額	6兆1,078億円	(同 6兆2,427億	・同 97.8%)

5) 日本の包装産業界の文献情報収集と海外への紹介

4. 出版関連事業（収益事業）

- 1) 機関誌「包装技術」の刊行 月刊（3月号で通巻659号）
- 2) 「Q&A容器包装」誌の編纂
- 3) 「包装技術便覧」第5版発行準備

第2 諸 会 議

- 1) 理事会 5月23日(火)、6月9日(金)、3月16日(金)
- 2) 常務理事会 5月23日(火)、9月14日(木)、11月9日(木)、3月15日(木)
- 3) 本支部連絡会 4月13日(木)、11月15日(水)
- 4) 各支部役員会

第3 行事・その他の活動

- 1) 行事
 - (1) 第6回定時総会（通期では第55回） 6月9日(金) 如水会館
 - (2) 2018包装界合同新年会 1月10日(水) ホテル椿山荘 参加者696名
- 2) その他の活動
 - (1) インターネットによる最新情報の提供
 - (2) Eメールによる協会活動内容の国内配信 (メールマガジン 12回)
 - (3) J P I 関連団体との連絡提携
日本包装専士会、日本包装管理士会、日本包装コンサルタント協会、技術士包装物流会、
日本包装学会、等との連携
 - (4) 消費者団体、市民団体との連携

第4 組 織

会員動勢（平成29年4月1日～平成30年3月31日）は、次の通りである。

1.法人会員	平成29年度期首	平成29年度		
	1017社	入会数 35社	退会数 43社	現在数 1009社
2.個人会員	平成29年度期首	平成29年度		
	160名	入会数 24名	退会数 20名	現在数 164名
3.特別会員	平成29年度期首	平成29年度		
	19名	入会数 0名	退会数 0名	現在数 19名

<会員登録動勢一覧>

	平成29年 4月1日		29年度入退会		平成29年度 合計
			入会	退会	
会員総数	1196		59	63	1192
法人	1017社		35社	43社	1009社
（口数）	(1044)		(35)	(43)	(1036)
個人	160名		24名	20名	164名
特別会員	19名		0名	0名	19名
登録員数	法人	1017社 2739名	35社 85名	43社 96名	1009社 2728名
	個人	160名	24名	20名	164名
	合計	2899名	109名	116名	2892名
関東	法人	1614名	43名	77名	1580名
	個人	84名	10名	8名	86名
関西	法人	573名	24名	13名	584名
	個人	30名	9名	5名	34名
中部	法人	380名	11名	4名	387名
	個人	23名	2名	3名	22名
西日本	法人	87名	4名	2名	89名
	個人	7名	2名	1名	8名
北海道	法人	47名	0名	0名	47名
	個人	2名	0名	0名	2名
東北	法人	38名	3名	0名	41名
	個人	14名	1名	3名	12名

支部事業活動報告

(北海道支部・東北支部・中部支部・関西支部・西日本支部)

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

◎ 北海道支部

第1. 事業

<研修、育成事業> (公益目的事業 1)

1) 研究会・講演会

- (1) 定時特別講演 6月30日(金) ニューオータニイン札幌 参加者34名
『2017 インターパック最新情報とこれからの包装ー現在、2020年、そしてその先は？ー』
有田技術士事務所所長 (技術士・包装管理士) 有田 俊雄 氏
- (2) 包装懇話会 (日本包装管理士会北海道支部と共催)
11月28日(火) ニューオータニイン札幌 参加者31名
『食品ロスの削減と容器包装の高機能化』
農林水産省 食料産業局 バイオマス循環資源課 食品産業環境対策室 課長補佐
矢部 努 氏
- (3) 新春研究会 (日本包装管理士会北海道支部と共催)
1月24日(水) ニューオータニイン札幌 参加者40名
『YKK AP ロジスティクスに関する取組』
YKK AP(株) 生産本部ロジスティクス推進部部長 岩崎 稔 氏
- (4) 包装基礎セミナー 2月21日(水) ニューオータニイン札幌 参加者38名
『eコマース台頭による包装の変化』
(株)クラウン・パッケージ 社長付広報室室長 八木野 徹 氏

<交流事業> (公益目的事業 1)

- 1) 企業見学研究会 (北海道生産性本部と共催) 10月16日(月) 参加者38名
見学先 ①北海道キッコーマン(株) (千歳市)
②トヨタ自動車北海道(株) (苫小牧市)

第2. 諸会議

- 1) 第1回支部運営委員会 5月29日(月) 札幌すみれホテル
- 2) 第2回支部運営委員会 10月26日(木) 札幌すみれホテル

第3. 行事・その他の活動

- 1) 支部定時総会(第50回) 6月30日(金) ニューオータニイン札幌
- 2) JPI 北海道支部・IPP 北海道支部合同親睦会
7月28日(金) キリンビール園 参加者20名
- 3) 2018年賀詞交歓会 (日本包装管理士会北海道支部と共催)
1月24日(水) ニューオータニイン札幌 参加者28名

◎ 東北支部

第1. 事業

<研修、育成事業> (公益目的事業 1)

- 1) 第52期包装管理士講座 (仙台会場) 仙台商工会議所会館他
6月27日(火)~29日(木) 7月11日(火)~14日(金)
受講者19名 (輸送包装コース12名、生活者包装コース7名)

2) 研究会・講演会

- (1) 特別講演会 (東北生産性本部・東北IE協会と共催)

6月19日(月) 仙台商工会議所会館 参加者39名
『企業・労組幹部のための心の健康』
一般社団法人日本産業カウンセラー協会理事 金田 隆 氏

- (2) 東北支部包装技術研究発表大会 11月6日(月) 仙台商工会議所会館 参加者39名

・『どら焼き用トレイとフィルムにおける包装改善~ピンホールによる加²発生を無くす為に~』
(株)高速 荒井 貴寛 氏

・『干物における包装改善』
(株)高速 山岡 駿平 氏

・『車載向けクロックスプリング用包装箱の改善事例について』
(株)アルプス物流 平山 真里恵 氏

・『治具による段ボールリールの反り防止対策』
常磐パッケージ(株) 熊谷 貴弘 氏

・『衝撃シミュレーションを用いた複合機における製品と包装部材の同時開発』
リコーテクノロジー(株) 北川 修 氏

・『ドライカルパス用外装箱の包装改善』
レンゴー(株) 齋藤 貴大 氏

<交流事業> (公益目的事業 1)

- 1) 企業見学会 (東北生産性本部・東北IE協会と共催) 10月24日(火) 参加者19名
見学先 ①レンゴー(株) 新仙台工場
②トヨタ自動車東日本(株) 宮城大衡工場

第2. 諸会議

- 1) 第1回支部運営委員会 6月15日(木) 仙台商工会議所会館
2) 第2回支部運営委員会 11月6日(月) 仙台商工会議所会館

第3. 行事・その他の活動

- 1) 第52期包装管理士講座合格証書授与式
11月6日(月) 仙台商工会議所会館 参加者26名
- 2) 2018年新年名刺交換会 1月18日(木) 江陽グランドホテル 参加者50名
講演会 『ヒトから考えるパッケージ・イノベーション
~ヒトの視覚および情報処理特性とパッケージ~』
大日本印刷(株) 包装事業部マーケティング企画本部 マーケティング部長 安田 尚司 氏

◎ 中部支部

第1. 事業

＜研修、育成事業＞（公益目的事業 1）

1) 第5 2期包装管理士講座（名古屋会場）

愛知県産業労働センター、愛知県技術開発交流センター

6月21日(水)～23日(金) 7月4日(火)～7日(金) 7月11日(火)～7月14日(金)

受講者72名(輸送包装コース44名、生活者包装コース28名)

2) 講演会・研究会

- (1) 包装資材研究例会 6月28日(水) 愛知県産業労働センター 参加者66名
- ・『3Dプリンターの基礎と応用、包装への適用事例と今後の可能性』
(株)スリーディー・システムズ・ジャパン 3Dプリンター事業本部
営業部マネージャー 春日 寿利 氏
 - ・『美粧パルプモールドについて』
ダイナパック(株) 開発本部製品開発部製品開発グループ 野本 早紀 氏
- (2) 輸送包装研究例会 7月21日(金) 愛知県産業労働センター 参加者80名
- ・『モーダルシフト展開と動向 ～JR貨物の輸送環境解析～』
日本貨物鉄道(株) 営業部国際営業グループ 倉庫・商社グループ サブリーダー 成田 昌哉 氏
(株)日立物流 営業統括本部ロジスティクステクノロジー部主任技師 秋山 幸章 氏
 - ・『段ボール箱の変形対策と圧縮試験の推定方法』
レンゴウ(株) 包装技術部包装評価センター 部長代理 東山 哲 氏
- (3) 生活者包装研究例会 9月21日(木) 愛知県産業労働センター 参加者41名
- ・『ハラール認証基準の最新動向と包装資材の現状』
(株)フードテクニカル・ラボ 代表取締役(技術士)
(NPO法人日本ハラール協会 理事 技術監査員) 伊藤 健 氏
 - ・『包装製品内部の不快臭を改善できる新機能性包材』
大日本印刷(株) 包装事業部技術開発本部基礎開発部(包装管理士) 竹内 直也 氏
- (4) 包装技術研究例会 10月18日(水) 愛知県産業労働センター 参加者47名
- ・『青果物の品質保持に関わる包装技術と輸送環境計測』
国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構
食品研究部門食品加工流通研究領域 食品流通システムユニット
主任研究員(包装技術担当) 北澤 裕明 氏
 - ・『光照射(蛍光灯およびLED)が透明容器詰め食品に及ぼす影響』
東洋食品工業短期大学 教授 後藤 隆子 氏
- (5) 包装技術講習会 11月28日(火) 愛知県産業労働センター 参加者62名
- ・『航空輸送と船舶輸送の輸送環境計測の実例報告』
一般社団法人日本海事検定協会 執行役員兼横浜第一事業所長 斎藤 威志 氏
 - ・『RFIDの特徴を活かした金属梱包容器の管理と応用』
(株)デンソーエスアイ 新事業推進部 部長 新海 直樹 氏
- (6) 定時記念講演会 6月6日(火) ホテルキャッスルプラザ 参加者74名

『ドローンの技術、規制、利活用の最新情報』
(株)自律制御システム研究所 代表取締役 CEO

野波 健蔵 氏

(7)第57回包装技術研究大会中部大会

2月22日(木) 愛知県産業労働センター

参加者128名

- ・『小型精密ロボットのCS³(シーエスキュービック)包装の開発』
東海紙器(株) 包装技術部 (包装管理士) 川瀬 隆明 氏
- ・『刺繍ミシンの樹脂箱化による荷姿改善』
(株)チューゲン 第2営業部営業2課 (包装管理士) 鈴木 御晃 氏
- ・『CKD部品の新規内装箱設計による低コスト省スペースへの改善』
ヤマハ発動機(株) 物流・安全貿易部物流技術・梱包グループ (包装管理士) 田 紘 氏
- ・『小ロット・多品種対応の軟包装材料向けデジタルグラビア印刷FUJIMO®の開発』
富士特殊紙業(株) 技術開発本部技術開発部 主任 (包装管理士) 水谷 礼士 氏
- ・『マグネットクランチ個装箱における落下衝撃・耐久性向上の包装改善』
刈谷紙器(株) 営業部開発課 (包装管理士) 神谷 貴史 氏
- ・『輸送包装の総コストから考える包装設計の改善』
セイコーエプソン(株) プリンティングソリューションズ 事業部P企画設計部 (包装管理士) 大橋 博志 氏
- ・『収縮フィルムの異種積層開発事例』
グンゼ(株) プラスチックカンパニー技術部技術開発課 (包装管理士) 野崎 孝典 氏
- ・『輸出用自動車エンジンの集合包装仕様改善』
スズキ(株) 生産物流部物流課 (包装管理士) 石川 昌平 氏
- ・『JISZ 0201 及び JISZ 0202 の改正に伴う経緯と
最近の ISO 規格開発活動の紹介』
JIS 原案作成委員会委員・ISO/TC122 国内対策委員会事務局 金子 武弘 氏

(8)第31回包装研究懇話会 3月2日(金)

参加者21名

見学先 あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 物流試験室

テーマ 「最新マルチカッティングマシンの事例紹介と体験研修」

3) セミナー

(1) 第27回包装設計の基礎講座

5月11日(木)~12日(金) 愛知県技術開発交流センター

参加者42名

- ・『包装の社会的役割 ・適性包装に向けての京セラの包装設計の考え方』
京セラドキュメントソリューションズ(株) プリンター2統轄技術部第41技術部主事 船木 敬一 氏
- ・『段ボールの構造と原紙種類・段ボール箱の規格と製造工程 ・箱の圧縮強さの評価』
- ・『段ボール箱の設計手順・段ボール箱の設計要因と劣化要因・箱圧縮強さの算出法』
- ・『段ボール箱の製作』
ダイナパック(株) 開発本部製品開発部部長代理 澤田 幸美 氏
- ・『機能性プラスチック包装材料の種類と使用の実例・包装材料を取り巻く世界の法規制』
(株)アイセロ マーケティング本部プロダクトマネージャー 工藤 洋平 氏
- ・『緩衝包装の目的・緩衝材の種類・緩衝性能と緩衝設計技法』

- あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室主任研究員 佐藤 幹彦 氏
- ・『包装試験、包装材料試験の目的と試験法および評価法』
- あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室 技師 飯田 恭平 氏
- ・『包装試験関連施設（衝撃・落下・振動試験、包装材料試験、箱圧縮試験など）の見学』
- あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室主任研究員 林 直宏 氏 他
- ・『トータルコスト削減に向けた集合包装』
- ユニカミノルタ株式会社 情報機器事業部カスタマーサポート統括部部品サービス部
係長（包装管理士） 松井 靖人 氏
- ・『ロジスティクスの中での包装の役割・陸海空の輸送形態の特性と包装改善』
- ヤマハ発動機株式会社 生産戦略統括部物流・安全貿易部物流技術梱包グループ
グループリーダー（包装管理士） 深村 英明 氏

<交流事業> (公益目的事業 1)

- 1) 見学会 10月4日(水) 参加者36名
見学先 ①味の素(株) 東海事業所(四日市市)
②井村屋(株) 点心・デリ工場(津市)

第2. 諸会議

- 1) 支部役員会 5月25日(木) 名古屋マリオットアソシアホテル
- 2) 第1回支部運営委員会 9月15日(金) ホテルキャッスルプラザ
- 3) 第2回支部運営委員会 3月16日(金) ホテルキャッスルプラザ
- 4) 第52期包装管理士講座講師打合せ 2月9日(金) ホテルキャッスルプラザ

第3. 行事・その他の活動

- 1) 支部定時総会 6月6日(火) ホテルキャッスルプラザ 参加者74名
- 2) 第52期包装管理士合格証書授与式
10月27日(金) メルパルク NAGOYA 参加者67名
- 3) 中部包装界新年賀詞交歓会 1月16日(火) ホテルキャッスルプラザ 参加者157名

◎ 関西支部

第1. 事業

1. 研修、育成、交流事業、普及啓発

<研修、育成事業> (公益目的事業 1)

- 1) 第52期包装管理士講座(大阪会場)
ハートンホテル北梅田 / 大阪府立産業技術総合研究所
6月20日(火)~22日(木)、7月4日(火)~7日(金)、7月11日(火)~14日(金)
受講者92名(輸送包装コース30名、生活者包装コース:62名)

2) 研究会・講演会

(1) 会員フォーラム(研究会)

- ①4月19日(水) TKPガーデンシティ PREMIUM 心斎橋 参加者52名
『ARを利用したパッケージ戦略』

特定非営利活動法人 販促AR推進機構理事

土屋 浩士 氏

- ②6月14日(水) TKPガーデンシティ PREMIUM 心齋橋 参加者67名
『日本最大級のパッケージデザインデータベース
～調査からみるパッケージデザインのトレンド～』

(株)プラグ 代表取締役社長

小川 亮 氏

- ③7月19日(水) TKPガーデンシティ PREMIUM 心齋橋 参加者68名
『Interpack2017 視察報告～Packaging&Printing4.0～』
有田技術士事務所 所長

有田 俊雄 氏

- ④8月23日(水) TKPガーデンシティ PREMIUM 心齋橋 参加者67名
『食品用器具および容器包装におけるポジティブリストの導入について』
厚生労働省医薬・生活衛生局 生活衛生・食品安全部 基準審査課課長補佐

近藤 卓也 氏

- ⑤9月20日(水) TKPガーデンシティ PREMIUM 心齋橋 参加者69名
『段ボール箱の圧縮強度推定計算の基本的な考え方』
キューピー(株) 研究開発本部商品開発研究所
シニア・コーポレート・サイエンティスト

高山 崇 氏

- ⑥10月18日(水) TKPガーデンシティ PREMIUM 心齋橋 参加者52名
『ひらめきの作法とその包装容器への応用の考察』
(株)アイディアポイント 取締役兼CIO

東 信和 氏

- ⑦12月13日(水) TKPガーデンシティ PREMIUM 心齋橋 参加者62名
『グリーンポリエチレンを中心としたバイオプラスチックの最新動向』
双日プラネット(株) 包装資材本部・グリーンプロジェクト担当課長

大八木 潤 氏

- ⑧2月21日(水) TKPガーデンシティ PREMIUM 心齋橋 参加者71名
『コンテナ内の温湿度変化のメカニズムと対策』
(株)MTI 営業グループ物流技術営業チーム 上席研究員

高橋 寿和 氏

(2) 生活者包装研究懇談会

- ①6月27日(火) 参加者73名
見学会 (株)明治 大阪工場 / 日本イーライリリー(株) 西神工場 / グリコピア神戸

- ②9月13日(水) TKPガーデンシティ PREMIUM 心齋橋 参加者69名
・『ブルガリアドリンク容器の開発～容器の変遷～』
(株)明治 研究本部技術開発研究所パッケージングソリューションセンター
包装技術グループ

柳 裕介 氏

- ・『薬剤師からみた医薬品包装の取り扱い性』

(株)ネイバーズ D I 薬局水前寺店管理薬剤師

松田 秀一 氏

- ③12月6日(水) TKPガーデンシティ PREMIUM 心齋橋 参加者64名
 ・『ASEANにおけるコンビニ中食の実状 2017』
 伊藤忠プラスチック(株) 包材第二本部営業サポート部長代行 佐藤 久朗 氏
 ・『安全で有用な医薬品包装のデザイン』
 済生会 横浜市東部病院 薬剤部副部長 菅野 浩 氏
- ④2月14日(水) TKPガーデンシティ PREMIUM 心齋橋 参加者65名
 ・『花王の容器包装～環境に配慮した新詰替え容器の開発～』
 花王(株) 包装容器開発研究所室長 稲川 義則 氏
 ・『医薬品包装におけるCRSFも含めた
 ユニバーサルデザインの実現と医療分野への適応拡大』
 横浜薬科大学 薬学部臨床薬学科 教授 定本 清美 氏

3) セミナー・コース

(1) 第24回包装基礎コース

- 5月17日(水)～19日(金) ハートンホテル北梅田 参加者52名
- 「包装概論」 (公社)日本包装技術協会 理事・事務局長 園山 洋一
 「板紙・紙器」 (株)DNPテクノパック クリエイティブデザイン課 飯島 淳 氏
 「段ボール」 レンゴー(株) 包装技術部大阪包装技術第一課課長 杉田 裕紀 氏
 「金属缶」 東洋製罐(株)資材・環境・品質保証本部品質保証部茨木品質課長 谷野 裕紀 氏
 「プラスチック容器」 東洋製罐(株) 資材・環境・品質保証本部品質保証部大阪品質課長
 鎌田 裕一 氏
 「プラスチックフィルム」 ユニチカ(株) フィルム事業部フィルム品質保証部長 中野 功 氏
 「ガラス容器」 日本山村硝子(株) ガラスびんカンパニー生産本部 技術開発部
 窯業設備チームリーダー 大野 太郎 氏
 「輸送包装技法」 シャープ(株) 品質・環境本部品質推進部参事 成本 裕一 氏
 「生活者包装技法」 凸版印刷(株) 生活・産業事業本部ビジネスイノベーションセンター
 開発本部第四開発部課長 三宅 英信 氏

(2) 第11回緩衝包装設計実践コース

参加者13名

- 10月25日(水) 大阪産業技術研究所
 『緩衝材についての基礎知識』『緩衝設計のための力学の基礎』『緩衝設計とは』
 (地独)大阪産業技術研究所 和泉センター製品信頼性研究部
 生活科学・輸送包装研究室主任研究員 津田 和城 氏
 『発泡プラスチック緩衝材の設計手順』『付属品と緩衝材のレイアウト検討』『グループ演習』
 『落下試験・衝撃値測定』『各種評価試験設備の見学』
 シャープ(株) 品質・環境本部品質推進部参事 成本 裕一 氏

(3) 第44回段ボール包装設計実習コース

参加者27名

10月3日(火)・1月25日(木) TKPガーデンシティ PREMIUM 心斎橋

10月17日(火)・1月26日(金) アイロップ(株)

講義『段ボール原紙・箱形式・特性・包装設計・包装貨物試験・製造 等』

レンゴー(株) 包装技術部 大阪包装技術第一課課長 杉田 裕紀 氏

実習「寸法の算出」「試作実習」「試作品の圧縮試験および落下試験」「講評と質疑応答」

アイロップ(株) 包装技術部部长 吉木 宏 氏

アイロップ(株) 包装技術部リーダー 脇田 明和 氏

<交流事業> (公益目的事業 1)

1) 会員フォーラム見学会

(1) (株)ワンビシアーカイブズ 関西センター

11月8日(水)

参加者 31名

(2) (株)トッパンメディアプリンテック関西

3月7日(水)

参加者 47名

第2. 諸会議

1) 支部役員会

5月31日(水) ホテル日航大阪

2) 支部運営委員会

6月6日(火) TKPガーデンシティ PREMIUM 心斎橋

12月13日(水) TKPガーデンシティ PREMIUM 心斎橋

3月8日(木) TKPガーデンシティ PREMIUM 心斎橋

3) 生活者包装研究懇談会実行委員会

8月4日(金) イマイビル

3月2日(金) イマイビル

第3. 行事・その他の活動

1) 支部定時総会 5月31日(水) ホテル日航大阪 参加者 123名

2) 第52期包装管理士合格証書授与式

10月27日(金)

ハートンホテル北梅田

参加者 55名

3) 新春会員交流会 1月15日(月)

大阪倶楽部

参加者 163名

講演会

『“工具のアマゾン” モノタロウが導入した新たな技～成功の秘訣～』

(株)Monotaro 代表執行役社長

鈴木 雅哉 氏

◎ 西日本支部

第1. 事業

1. 研修、育成、交流事業、普及啓発

<研修、育成事業> (公益目的事業 1)

1) 第52期包装管理士講座 (福岡会場)

6月21日(水)～23日(金) 7月11日(火)～14日(金) IPシティホテル福岡

受講者 39名 (輸送包装コース 19名、生活者包装コース 20名)

2) 研究会・講演会

(1) 輸送包装研究会

- 5月15日(月) IPシティホテル福岡 参加者25名
- ・『YKK APの物流 ～ICTを活用した作業効率の向上について』
YKK AP株式会社 生産本部 ロジスティクス推進部 部長 岩崎 稔 氏
 - ・『物流イノベーションは包装技術から～自動車の実例から～』
J-S C I コンサルティング 代表 (日本MH協会 副会長) 安藤 康行 氏

(2) 生活者包装研究会

- 5月19日(金) IPシティホテル福岡 参加者13名
- ・『食品関連事業者のための 食品衛生2017』
福岡市博多区保健福祉センター 衛生課 食品係担当 齋藤 望 氏
 - ・『おいしさを測る』
一般財団法人日本食品分析センター 名古屋支所 栄養科学部 生化学分析課
浜崎 裕也 氏

(3) 総会説明会 特別講演会

- 7月21日(金) IPシティホテル福岡 参加者14名
- 『日本貨物鉄道 「環境型総合物流セミナー」
倉庫保管・輸送の仕組みをもう一度見直しませんか』
日本貨物鉄道(株) 九州支社 次長 (営業) 木林 徳彦 氏

(4) 2017包装事例研究発表会

- 11月2日(木) IPシティホテル福岡 参加者14名
- 全日本包装技術研究大会発表者より1名・52期優秀包装論文より5名

<交流事業> (公益目的事業 1)

- 1) 見学会 (IPP支部合同・福岡倉庫協会と共催)
- (1) ひよ子本舗吉野堂 穂波工場見学コース (新工場)
4月28日(金) 参加者22名
 - (2) ベジフルスタジアム (正式名称 福岡市中央卸売青果市場)
10月26日(木) 参加者28名

第2. 諸会議

- 1) 第1回支部運営委員会 7月21日(金) IPシティホテル福岡
- 2) 第2回支部運営委員会 11月2日(木) IPシティホテル福岡

第3. 行事・その他の活動

- 1) 第52期包装管理士講座合格証書授与式
11月2日(木) IPシティホテル福岡 参加者40名